

最長12mの製品にも対応 西日本最大級の粉体塗装ライン

株式会社松本現色化学工場

<http://www.e-matsugen.co.jp/>

大阪
21



ガードレールを塗装

Company Profile

株式会社松本現色化学工場

住 所／〒590-0901

堺市堺区築港八幡町1-52

創 業／昭和37年

設 立／昭和39年10月

資本金／1,000万円

従業員／35名

T E L／072-228-3500

F A X／072-228-3501

■主な事業内容

金属製品塗装業

■主な取引先

道路製品製造会社、防護柵
製造会社、エクステリア製造
会社 等



西日本最大級の粉体塗装専門大型ライン

人と地球に優しく
耐久性も抜群
塗装は「粉体」の時代へ

企業の社会的責任として環境への配慮やコンプライアンスが必須となっている今、塗装分野においてはVOCに関する規制強化への対応や化学物質の自主管理の徹底が求められている。そんな中注目を集めているのが、松本現色化学工場の手掛ける「粉体塗装」だ。

同社が採用する粉体塗装は、静電粉体塗装法と呼ばれる方式。塗料の粒子を静電気によって付着させ、その後炉で焼き付ける手法だ。有機溶剤を全く使用しないため環境に優しく、VOC規制への対策として極めて有効。また腐食や風雨に強く耐久性に優れているのも大きな特長で、そのメリットを活かし、ガードレールや柵干のような屋外の道路製品に、広く採用されている。さらに塗面が均質で仕上がりも美しいことから、観光地や都心のように景観を重視する場

所でも用途を拡大し続けている。
長尺・大物を中心に
柔軟に対応できる大型工場

同社は昭和37年の創業以来、ガードレールを中心とした道路製品の溶剤塗装を行ってきた。溶剤塗装と併行して粉体塗装も手がけるようになったのは15年ほど前のこと。そして平成5年、その将来性の高さを見据え、溶剤塗装ラインを粉体塗装ラインへ思いきって移行したのである。粉体塗装に特化した「新生松本現色化学工場」の誕生だ。平成18年には現在地に移転し新工場を設立。大物・長尺物にもゆとりをもつて対応できる環境を整えた。

新工場は粉体塗装を行う施設としては、西日本最大級の規模を誇る。大型塗装ラインはコンベア長25.6m。スプレー式の前処理ブース、粉体移動塗装ブース3機、焼付乾燥炉で構成され、最長12m、高さ2.8m、幅1mの製品の塗装が可能だ。塗装ブースを移動式で

3機設け、色替えの時間ロスも軽減した。生産ラインの設計を直線的でシンプルにしたことで、多様な注文にも柔軟に対応することができ、また小物の塗装も行えるよう、小型塗装ラインも備えている。

大型の道路製品等の塗装では国内でも屈指の存在である同社。関西圏に留まらず遠方からのオーダーも多いという。現在主に手掛けるのはガードレールをはじめ、メッシュフェンス、橋の高欄、防護柵等、公共事業関連の仕事だ。しかし粉体塗装の可能性はまだまだ広がる、と松本社長は力強く語る。「例えば信号柱や標識柱のほか、粉体塗装が適した製品は、他にも沢山あります。それらが粉体塗装へ切り替わる時、当社が培ってきた実績と、この工場がいっその真価を発揮するでしょう」。

当社のセールスポイント

ぜひ一度当社工場へ
見学にお越しください。

代表取締役
松本 益美さん



私が創業者である父から松本現色を引継いだ時、当社でも溶剤塗装を並行していました。しかし、粉体塗装の将来性、そして同時に職場環境の健全化を願い、粉体塗装に特化することを決断しました。社員が安全で安心して働ける職場だからこそ、地球に優しい品々を自信をもって送り出せるのだと思います。汚れも有機溶剤の匂いもない工場を見学された方々は「本当に塗装工場?」と驚かれることもしばしばです。ぜひ一度、当社工場へ見学にお越しください。